

| | |
|--------|--|
| 学科名 | デザイン科 |
| コース名 | プロダクトデザイン専攻 |
| 授業科目 | プロダクトデザイン実習1 |
| 必選 | 選 |
| 年次 | 2年次 |
| 実施時期 | 前期 |
| 種別 | 実習 |
| 時間数 | 60 |
| 単位数 | 2 |
| 担当教員 | 白鳥 裕之 / 明石竜太郎 |
| 実務経験 | 有 |
| 実務経験職種 | プロダクトデザイナー |
| 授業概要 | 異なる3種類の課題に取り組むことで、プロダクトデザイナーに必要なスキルを多角的に修得する授業である。社会的視野や表現手法の幅を広げるべく、アイデア創出のフレームワーク、素材加工、3Dモデリング手法等、より実践的なデザインプロセスを体験する授業である。 |
| 到達目標 | 数種類の実習課題を通じて、それぞれの課題に適したアウトプットが行えることを目標とする。社会で求められる短時間での可視化スキルの向上を目指す。 |
| 授業方法 | 各課題毎に講師のデモンストレーションから学びを深め、その後学生自身が作品制作からプレゼンテーションまでを短時間の内に行う。 |
| 成績評価方法 | プレゼン:20% 制作物の発表方法、内容について評価する 課題完成度:60% 提出課題完成度を総合的に評価する リサーチ:10% 制作準備と過程を評価する 平常点:10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する |
| 履修上の注意 | 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。カッターナイフや接着剤等のデザインツールを使用する際は、怪我や周囲の安全に注意すること。 |
| 教科書・教材 | 必要に応じて資料を配布 |
| 授業計画 | |
| 第1回 | 「課題①」課題説明 / アイデア創出 |
| 第2回 | 「課題①」アイデア創出 |
| 第3回 | 「課題①」中間プレゼンテーション |
| 第4回 | 「課題①」アウトプットの可視化 |
| 第5回 | 「課題①」プレゼンテーション |
| 第6回 | 「課題②」課題説明 / アイデア創出 |

| | |
|------|--------------------|
| 第7回 | 「課題②」アイデア創出 |
| 第8回 | 「課題②」中間プレゼンテーション |
| 第9回 | 「課題②」アウトプットの可視化 |
| 第10回 | 「課題②」プレゼンテーション |
| 第11回 | 「課題③」課題説明 / アイデア創出 |
| 第12回 | 「課題③」アイデア創出 |
| 第13回 | 「課題③」中間プレゼンテーション |
| 第14回 | 「課題③」アウトプットの可視化 |
| 第15回 | 「課題③」プレゼンテーション |